

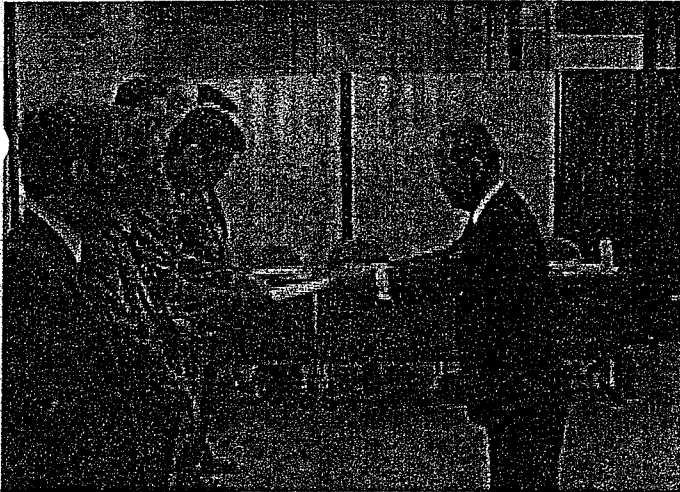
## 〈今年のエキスパートの動き〉

## 新規登録者 40 名に登録証交付

今年の整備局退職者を中心に 40 名の登録があり、6月27日、中部建設協会本所にて登録証交付式及び防災エキスパート制度の概要についての説明等が行われました。全登録者数は556名となりました。

12月現在では542名となっております。

## 登録証交付の様子



## 防災エキスパート地区研修会実施状況

7月、8月に各ブロックにおいて地区研修会が実施され、愛知113名、岐阜99名、三重55名、静岡66名、長野34名が参加されました。防災対策官からは、整備局の防災業務の方針について、各事務所防災担当者からは事務所毎の防災対策について等の報告がありました。愛知、長野では東海地震についての講演が行われました。

また、静岡では地区研修会後に、静岡管内の事務所と世話役の意見交換会が行われました。

## 防災エキスパート多治見・岐阜地区研修会

多治見砂防国道事務所管内のエキスパート現地研修会が8月7日に実施され、25名の参加で、中津川砂防、四つ目遊水工、東海環状の木曾川橋梁、兼山トンネル等の現地調査と事務所の事業説明、意見交換も行われました。また、木曾川上流河川事務所の研修会が8月28日に実施され、38名が参加され、事務所の災害時の体制、災害時に注意すべき事項、意見交換等が行われました。

## 防災エキスパート遠州地区研修会

浜松河川国道事務所管内の天竜川以東のエキスパート研修会が11月6日に行われ、関係エキスパート38名中31名が参加されました。

東海地震対策重点箇所指定された「静岡県交通要衝エリア」のうち掛川、袋井BPで液状化の恐れのある高盛土区間や落石・のり面崩壊の恐れのある切土区間、河川においては菊川本川、牛淵川、下小笠川の重要水防箇所、防災拠点等の現場



確認を行いました。遠州地区研修の様子

## 防災エキスパート代表世話役会議

8月6日、中部建設協会本所にて代表世話役会議が行われました。

防災訓練の参加準備に関する打ち合わせを行い、事務所毎の要請人数等の説明を受けました。

また、防災エキスパート GIS システム（地図上にエキスパートのデータがプロットされており、災害地に近いエキスパートがすぐに判明するシステム。）の説明も行われ、具体的な使用方法等の説明がなされました。今後、各ブロックに導入されれば防災エキスパートの活動がよりスムーズになると考えられます。世話役会議の様子



## 平成 15 年度防災エキスパート訓練報告

9 月 1 日に中部地方整備局と合同で防災訓練が実施され、48 名のエキスパートの方が自発的モニター活動や依頼活動を行いました。

訓練に参加されたエキスパートの方々から以下のような反省点、指摘がありました。

- ・事前の周知内容は実施日とエキスパートの心構え程度に留めておく方がよい。(筋書き通りでは訓練にならない。)
- ・事務所から依頼された時点で最寄りのエキスパートに連絡を取り、参集場所に向いてもらう方がよいのではないか。
- ・通常時にシークレットで事務所の担当課と連絡を取り訓練をするのも良いのではないか。等の意見が出されました。

### 中部地方整備局防災担当から一言

ご苦労様です。

災害時の初期情報、広域災害時における早期の被害状況把握は、その後の対応を図る上で大変重要な課題です。豊富な知識をお持ちのエキスパートの皆様のご協力に感謝申し上げます。

いざと言う時に素早く機能するためには、日頃からの準備・備えが重要であり、整備局においても研修会や訓練・演習など、繰り返し実施してきたところです。

特に、今後は支部(事務所)単位においても、ロールプレイング方式による訓練を実施していくこととしており、豊富な知識と体験をお持ちのエキスパートの皆様に、ぜひとも訓練への参加をお願いしたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

(防災対策官 山下)

### 〈お願い〉

#### 研修会・講演会への積極的参加について

防災エキスパート研修会・講演会では管内状況や防災に関する多くの情報を得ることが出来ますので、皆様の積極的な参加をお願いします。

#### 活動終了後における報告について

防災エキスパート活動には、すべて傷害保険をか

ロールプレイング方式危機管理訓練に参加  
整備局の新任技術副所長クラス研修の一環として、  
ロールプレイング方式による危機管理訓練が5月15  
日に研修センターであり、本所への要請で4名のエキス  
パートがコントローラーとして参加しました。

また、12月3日には、静岡国道事務所の危機管理  
演習があり、静岡支所への要請により支所長外3名が  
参加し、コントローラー2名、プレイヤー2名に分かれて、  
職員と一体となった訓練を実施しました。

#### 課題として

①自主モニターからの情報を直接事務所に上げて  
も輻輳してしまう。②依頼出動のエキスパートも直接事  
務所集合では行動が半減するので支所に集合し、意  
思統一を図る必要がある。

等の総括がされました。

けております。活動中はもちろん、自宅や会社に  
帰還するまでが適用です。このため出動や訓練時  
には、帰宅又は帰社された時点で帰宅報告をいた  
だきますようお願いいたします。

#### 防災エキスパート活動への意見について

年間を通じて、各研修会、防災訓練等で活動  
への意見をお聞きしております。ご意見等があ  
りましたら、いつでも事務局までお知らせ下さ  
い。

### 〈お知らせ〉

#### 防災セミナー開催案内

平成 15 年度防災とボランティア週間の行事と  
して防災セミナーを開催します。

日時：1月30日(金) 13時45分～

場所：中区 鯨城ホール(白川公園西隣)

講師：レスキューストックヤード 事務局長 栗田暢之氏

名古屋大学地震火山観測センター教授 安藤雅孝氏

エキスパート以外でも聴講出来ます。

お誘いあわせの上、多数の参加をお願いします。

発刊：中部地方防災エキスパート事務局

(社)中部建設協会

名古屋市中区丸の内3-5-10

TEL052-962-2227 FAX052-962-9083